

平成23年度後志総合振興局管内観光入込客数の概要

1 調査基本事項

(1) 調査内容

後志管内全20市町村の調査結果を基に市町村毎の延べ人数で集計。

(2) 調査対象期間

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(3) 調査項目

- ①入込客総数 ②道外客・道内客（総数内訳） ③日帰り客・宿泊客（総数内訳）
④宿泊客延数

2 調査結果概要

入込客数は、前年と比較し6%減、約118万人減少で、約1,856万人であった。

平成23年3月に発生した東日本大震災と、それに伴う原子力発電所の事故の影響を大きく受け、特に上期は前年同期比8.4%減、約102万8千人減少で約1,115万人と大幅に減少した。

下期では、1月と3月において前年同月を上回るなど回復傾向が見られたものの、前年同期比2%減、約15万人の減少で約741万人となった。

外国人観光客については震災や円高の影響により、宿泊客延数で前年度比25.1%減と未だ厳しい状況が続いている。

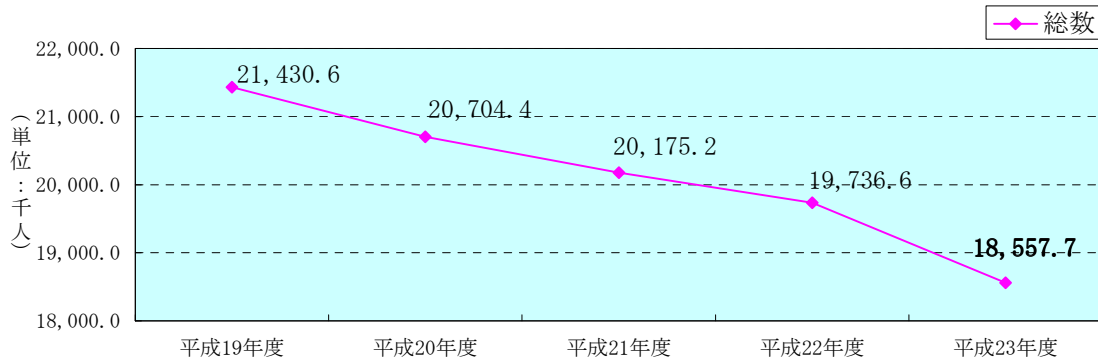
(1) 主な増減理由

- (増) 前年の大雨の影響による通行止めの解除や、施設の新規開業に伴う入込客の増加
- (増) 夏季の道外からの長期滞在客の増加
- (減) 東日本大震災や原子力発電所の事故、また円高の影響による外国人観光客の減少
- (減) 夏季の天候不順（大雨等）の影響による観光入込客の減少

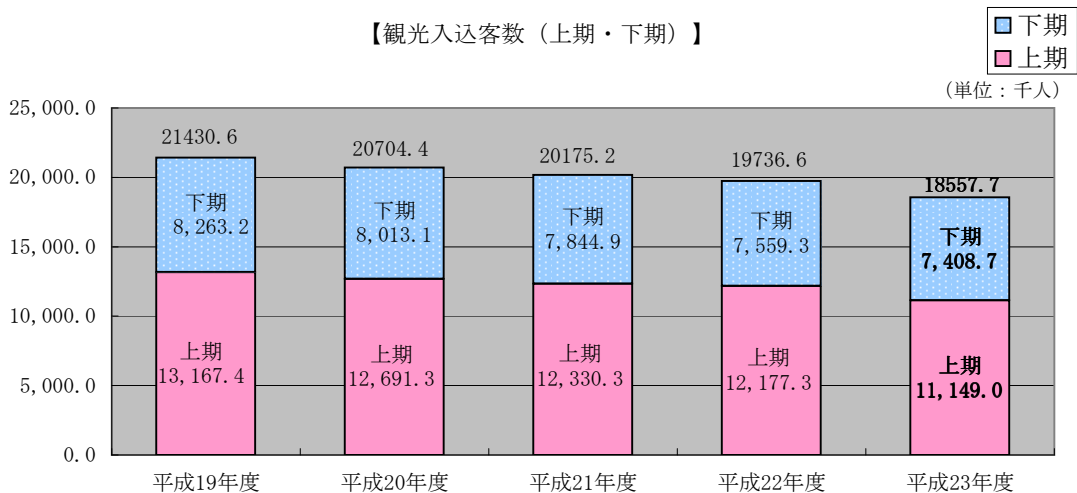
(2) 観光入込客数の過去5年間の推移

(参考：平成11年度 26320.9千人 ※平成9年度に現在の調査方法になってからの最高値)

【観光入込客数】



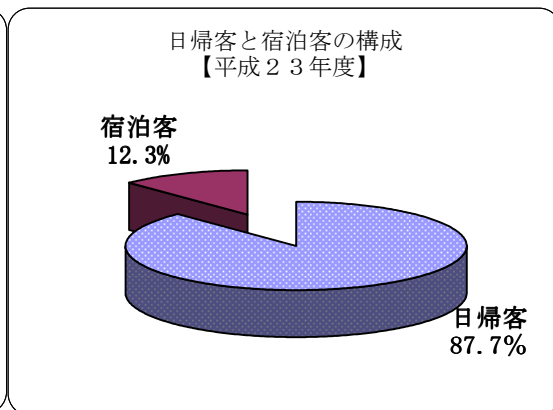
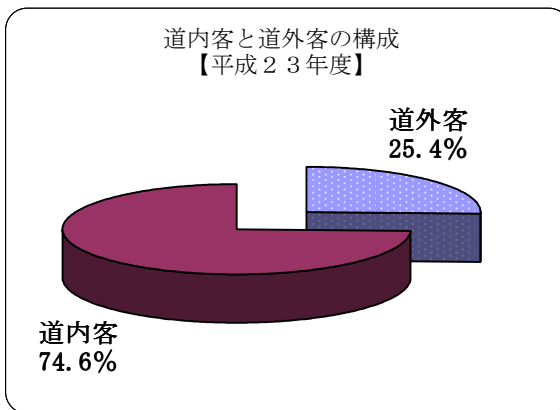
【観光入込客数（上期・下期）】



(3) 道外客・道内客構成比率、宿泊客・日帰客構成比率、平均宿泊日数

(単位：千人)

	入込客総数	総数内訳		総数内訳		宿泊客延数	平均宿泊日数
		道外客	道内客	日帰客	宿泊客		
H23年度	18,557.7	4,720.6	13,837.1	16,268.8	2,288.9	3,045.3	1.33泊
H22年度	19,736.6	4,913.0	14,823.6	17,494.9	2,241.7	2,721.1	1.21泊
対前年比	94.0%	96.1%	93.3%	93.0%	102.1%	111.9%	109.9%
構成比(H23)	100.0%	25.4%	74.6%	87.7%	12.3%		
構成比(H22)	100.0%	24.9%	75.1%	88.6%	11.4%		



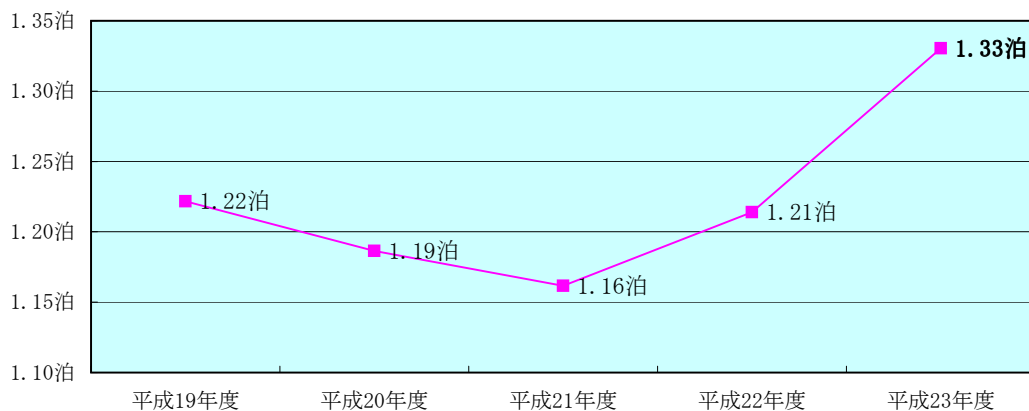
・道内客と道外客の構成は、道内客が13,837.1千人で全体の74.6%、道外客が4,720.6千人、25.4%と道内からの入込が多くなっている。

・日帰客と宿泊客の構成は、日帰客が16,268.8千人で全体の87.7%、宿泊客が2,288.9千人、12.3%と約9割が日帰り客となっている。

(単位：千人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
宿泊客数	2,521.1	2,542.3	2,398.8	2,241.7	2,288.9
宿泊客延べ数	3,079.8	3,016.4	2,786.3	2,721.1	3,045.3
平均宿泊日数	1.22泊	1.19泊	1.16泊	1.21泊	1.33泊

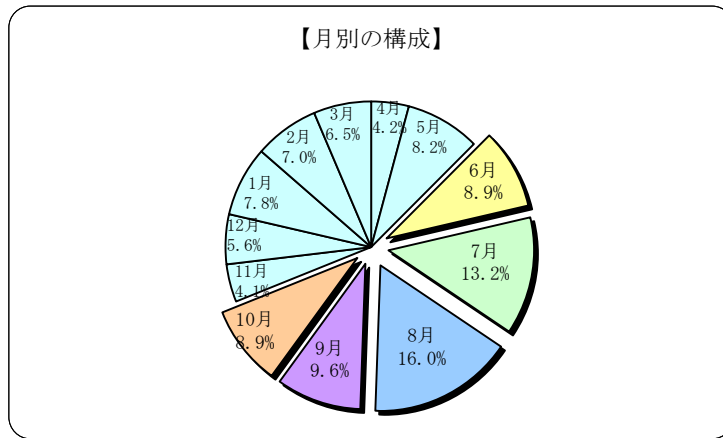
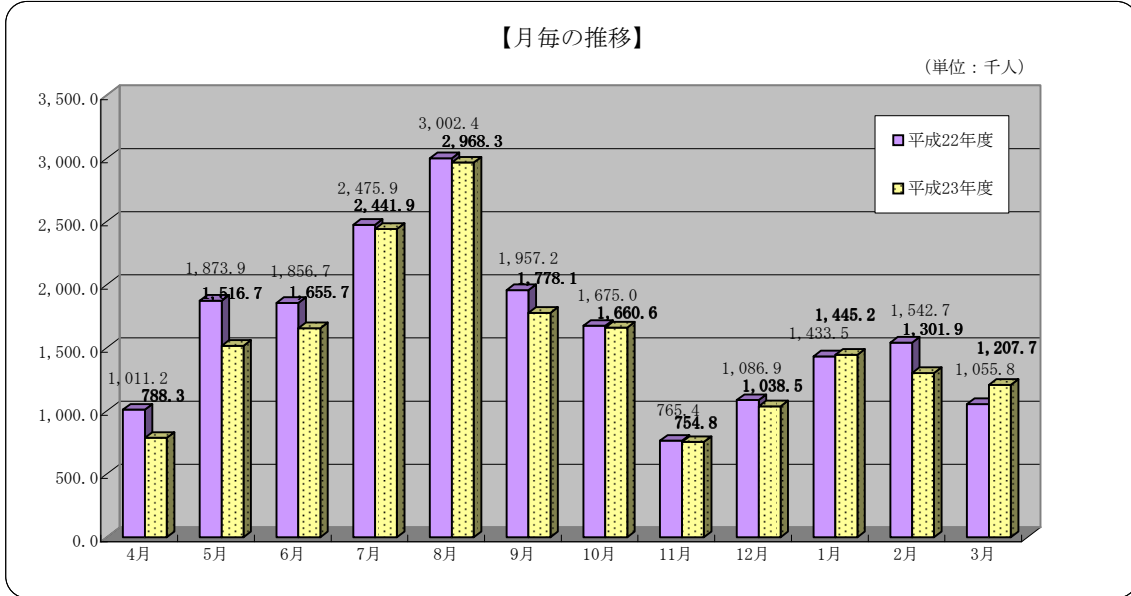
【過去5年間の平均宿泊日数の推移】



(4) 月毎の推移と構成

(単位：千人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成23年度	788.3	1,516.7	1,655.7	2,441.9	2,968.3	1,778.1	1,660.6	754.8	1,038.5	1,445.2	1,301.9	1,207.7	18,557.7
平成22年度	1,011.2	1,873.9	1,856.7	2,475.9	3,002.4	1,957.2	1,675.0	765.4	1,086.9	1,433.5	1,542.7	1,055.8	19,736.6
対前年比	78.0%	80.9%	89.2%	98.6%	98.9%	90.8%	99.1%	98.6%	95.5%	100.8%	84.4%	114.4%	94.0%

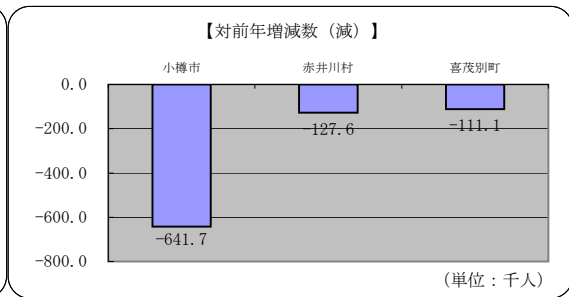
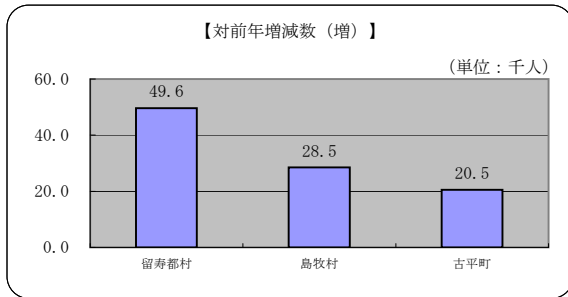
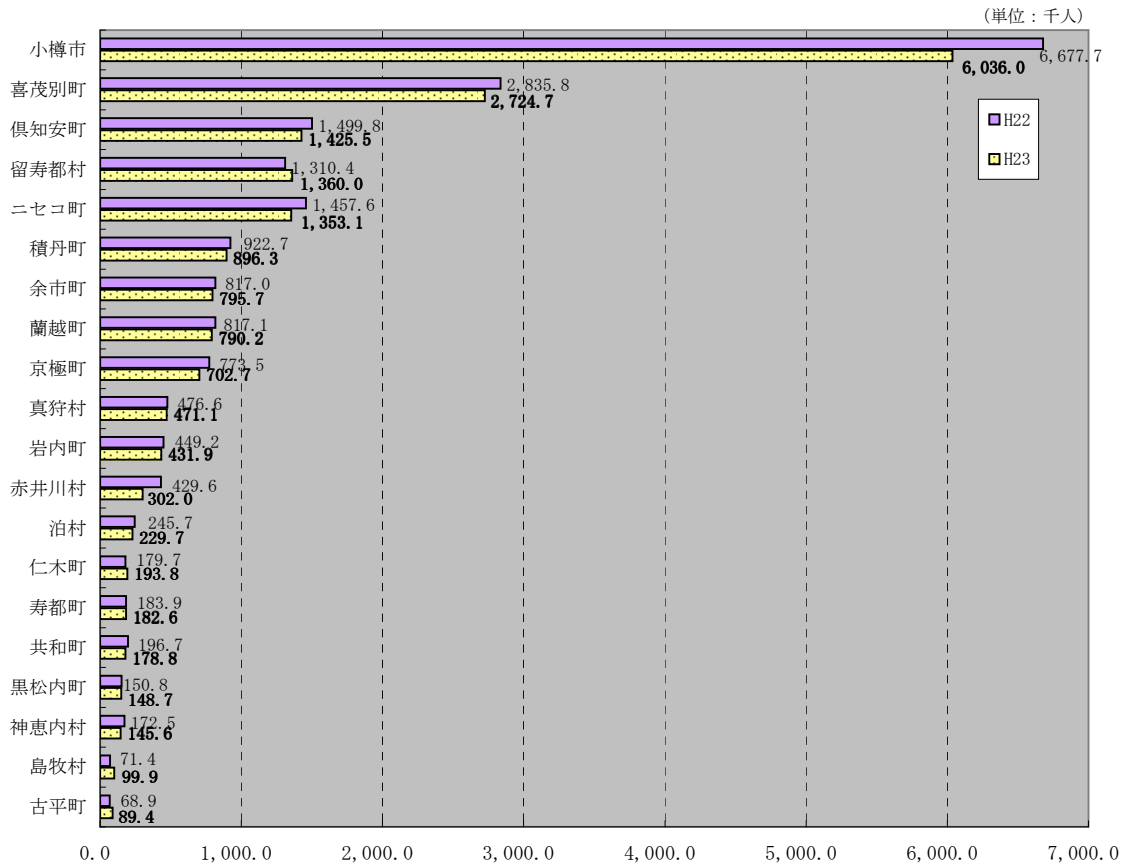


- ・月別の構成では、8月が2,968.3千人と最も多く、全体の16.0%を占めている。
- ・次いで7月が2,441.9千人、13.2%と続き、以下9月、6月、10月の順となっている。
- ・上期（4月～9月）の前年同月比較では、平成23年3月に発生した東日本大震災と、それに伴う原子力発電所の事故の影響を大きく受け4月～9月全ての月で前年度を下回っている。
- ・下期（10月～3月）の前年同月比較では、震災の影響からは回復基調にあり、2月を除く下期全ての月で前年度並みとなっているが、2月については3連休がなかったことや、厳冬・積雪の影響を受け前年度を下回る結果となっている。
- ・3月は、前年度に震災の影響を大きく受けた月であったことから今年度は増加した。

(5) 市町村別 (入込客数、増加数グラフ)

○入込客数

【市町村別観光入込客数】



留寿都村 :降雪に恵まれた結果、スキー場の営業期間が長かったことと、3月は前年の震災の影響を受けた数値であったことから、増加した。

島牧村 :前年は豪雨被害により島牧村の観光名所である賀老の滝、狩場山登山口への道路が通行止めとなっており、それを受け今年度は入込数が増加した。

古平町 :町の温泉施設が建替えオープンしたことなどから増加した。

小樽市 :東日本大震災の影響により上期は大幅に減少した。ゴールデンウィークを境に徐々に回復傾向が見られたことから、下期は前年度同程度まで回復したが、上期の大幅な減少により、全体では減少し。

赤井川村 :道外ツアーや、外国人観光客の予約が落ち込んだため減少した。

喜茂別町 :前年比で増加した月もあったが、震災の影響を受け結果的には減少した。